

## 西高のめざすべき姿 ～3学期始業式 学校長の話から～

3学期が始まりました。3学期は、1年間で最も短い学期です。3年生が学校に来るのは、今日も入れてあと18日です。卒業に向けて高校生活最後の仕上げをする時です。学校生活の様子を見ていると社会に出しても大丈夫だと思えるほどしっかりしてきました。下級生から、さすが3年生と言われるよううしろ姿を見せて卒業してほしいと思います。3年の3学期は学校に来る日が少ししかないので、2年生にとっては、この3学期が3年生のゼロ学期と言われると思います。今から3年生が始まると思ってください。1年生は、西高での学校生活を振り返り自己点検と軌道修正を行うことで、4月から2年生として順調なスタートを切ることができます。

高校では、3年間で自分の得意なことや興味のあることを見つけて、それを伸ばして自分に合った卒業後の進路を選択しなければなりません。今日は、年の初めに当たり、氷上西高校がどんな学校を目指しているか、目指すべきかという話をします。

氷上西高校は、卒業する生徒の進路の割合が、進学と就職でほぼ同じ数です。半分の人が進学し、半分の人が就職します。就職を希望する人は、卒業後すぐに社会に出て、一人前の社会人として、大人として通用するように、3年間の学校生活を通して大きく成長してもらわないといけません。

そこで、生徒のみんなが有意義で楽しい学校生活を送り、一人一人の個性や才能を伸ばすことができるために、氷上西高校のめざしている学校像は次の3つです。

### ① 規律のある学校

「あいさつ・そうじ・時間を守る」といった基本的な生活習慣やマナー、人間関係を築くために必要な言葉使いなどを身につけることができる規律のある学校です。

あいさつはコミュニケーションの第一歩です。「おはようございます」と言われたら「おはようございます」と自然にあいさつを返したり、自分から明るい笑顔であいさつをすることができる。それが社会人として、大人になるための第一歩です。

### ② 落ち着いたある学校

仲間と協力して、一緒にがんばることが楽しい、一人ではむずかしいこともみんなと一緒になら可能になる、そんなお互いを高め合える温かい雰囲気と明るい笑顔のある学校が落ち着いたある学校です。今年は成年ですので、「ワン for All. All for ワン」。

### ③ 学びと活気のある学校

授業はもちろん、学校行事、部活動、ボランティア活動などいろいろな機会をとおして、幅広く学んでほしいと思います。人は経験から学びます。自分の得意なもの、興味があるものを見つけてそれを伸ばすことができる学校が学びと活気のある学校です。いろいろなことに挑戦して、自分の可能性を伸ばしましょう。

(校長 高橋信之)